

科目名		空間装飾実習			
担当教員		大沼 久子		実務授業の有無	有
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	授業形式	実習	時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方		基本的なDisplay・POP・ラッピング技術の習得と販売に繋がる演出力を、店舗等における販促計画や季節に合わせた表現をディスプレイを通して学ぶ。 1. 座学→プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した製作の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、イメージ設定をし学内展示し、評価、解説する。			
学習目標 (到達目標)		Display・POP・ラッピング技術の習得。販売に繋がる演出力を学び、商品の見せ方、並べ方の基本を習得し、売上げに繋がる技術を学ぶ。検定対策とともに就業時の即戦力になれるPOPラッピング技術の習得を目指す。☑			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①検定ガイドブック・ストアオペレーションハンドブック☑ ②おまたせしない実用ラッピング、pop広告制作マニュアル+オリジナル ☑ ☑			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	①校内展示 個人 ・企画→製作→撮影 ・棚1/2のスペースの演出 (秋、Halloween、Xmas、spring)			・季節に合わせた壁面+立体演出する。 ・シンプルに拡散表現で見せる。	
2	②校内展示 グループ ・テーブルコーディネート+Displayスペース (秋、Halloween、Xmas、spring)			季節のテーマに合わせたテーブルコーディネート (校外ディスプレイ実習ヤマシタ家具様演出の予習も兼ねている)	
3	③校内展示 Xmas演出 グループ			Xmas用に普段演出しない箇所も装飾企画→造作→演出→撮影→反省点・講評	
4	④クリスマスケーキ製作			リアルXmasケーキを製作 企画→造作 優秀作品はヤマシタ家具様で演出する。 他の作品は校内テーブルコーディネートにて演出する。	
5	⑤拡散構成			インテリアのイラストを基にコラージュ作成する。 額装して展示予定	
6	⑥テーマカラーの設定+棚構成の演出			着色表現、棚コラージュ額装して展示予定 色の出し方、棚陳列の法則など習得する。	
7	⑦POPラッピングの応用			Halloween、Christmas装飾用のギフトラッピングなど	
8	⑧ヤマシタ家具亀田店様 VP演出			企画書の書き方説明→準備→店内見学→説明→商品セレクト→企画→提出→演出→撮影→報告書	
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題			広範囲の演出により全体を見て目線を重視し、シンプルかつ見やすい演出を心がける。お客様に提案できる販売につながる演出にする。プロフェッショナルな演出を目標にする。	
30 %	70 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		ディスプレイ業界において、30年実務に携わる			